

(3) 底質の変化傾向

1) 水平分布の比較

第1回調査から第4回調査の水平分布の比較結果を図5-141に示す。なお、COD、T-P、硫化物に関しては、第4回調査とそれ以前とで分析方法が異なるため単純に比較はできないが、参考としてコメントしている。第4回調査の泥分率については、比較のために第3回調査までの分析方法で分析した結果を掲載している。

泥分率は、ほとんどの海域で大きな変化はなかった。ただし、紀伊水道北部では値が上昇していた。90%以上の値の変化をみると、第3回調査と第4回調査では大きな変化はないが、第1回調査と比較すると第4回調査は大阪湾奥部でやや値が低下していた。

ILは、第3回調査と比較すると、第4回調査では多くの海域で低下していた。ただし、大阪湾西部の淡路島沖や備讃瀬戸北西では高くなっている点もみられた。また、紀伊水道でも北部から南西部にかけてやや上昇していた。

CODは、第3回調査と比較すると、大阪湾と播磨灘で上昇しており、第1回調査と同様の値となっていた。紀伊水道では第2回調査、それ以外の海域では第3回調査が最も値が低い結果であった。播磨灘西部や備讃瀬戸東部付近では大きな変化はなかった。

TOCは、第3回調査と比較すると、紀伊水道と備讃瀬戸、播磨灘東部や播磨灘西部など値が低い海域では大きな変化はないが、大阪湾と播磨灘北部・中央部など値が高い海域では値が低下していた。第1回調査から比較して、徐々に値が低くなっていた。

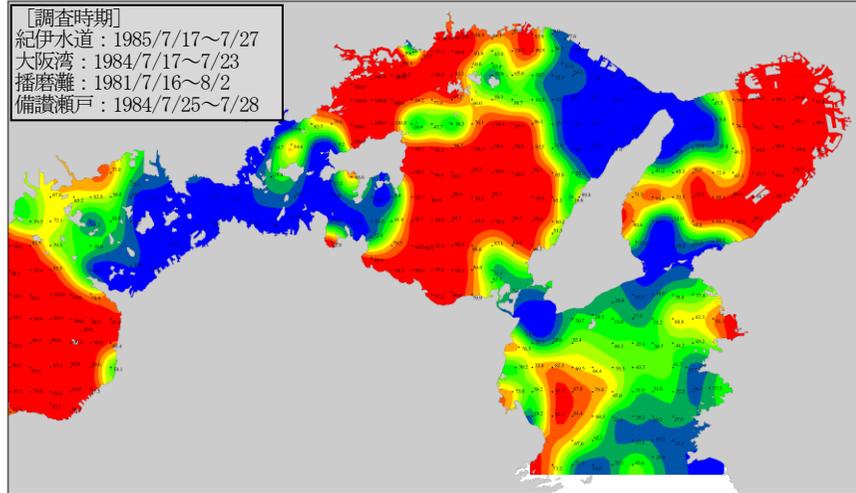
T-NはTOCとよく似た傾向を示しており、第1回調査から比較して、徐々に値が低くなっていた。

T-Pは、第3回調査と比較すると、大阪湾では大きな変化はないが、播磨灘や紀伊水道、備讃瀬戸北西部では値が上昇しており、第1回調査から比較して、徐々に値が高くなっているように見える。

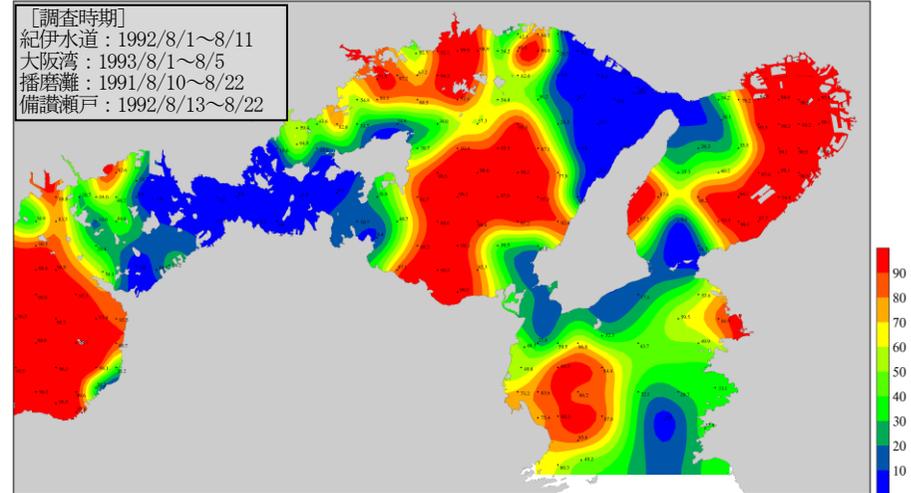
硫化物は、第3回調査と比較すると高い値を示す地点が減り、大阪湾奥部では値が低くなっていた。一方、播磨灘中央部では検出されていなかった地点で検出されていた。

※水平分布図は調査地点の底質調査結果を基に作成しており、底質分布の傾向を示したものである。調査地点より沿岸の海域は、調査結果の変化傾向から外挿している。

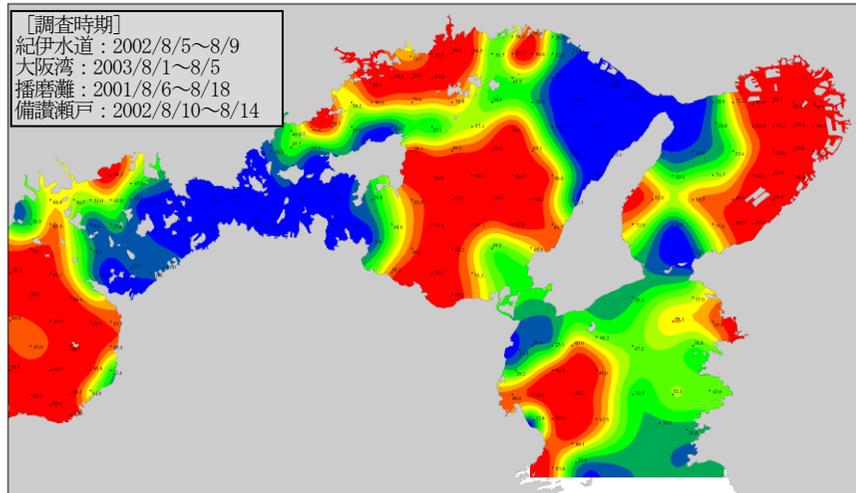
【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】

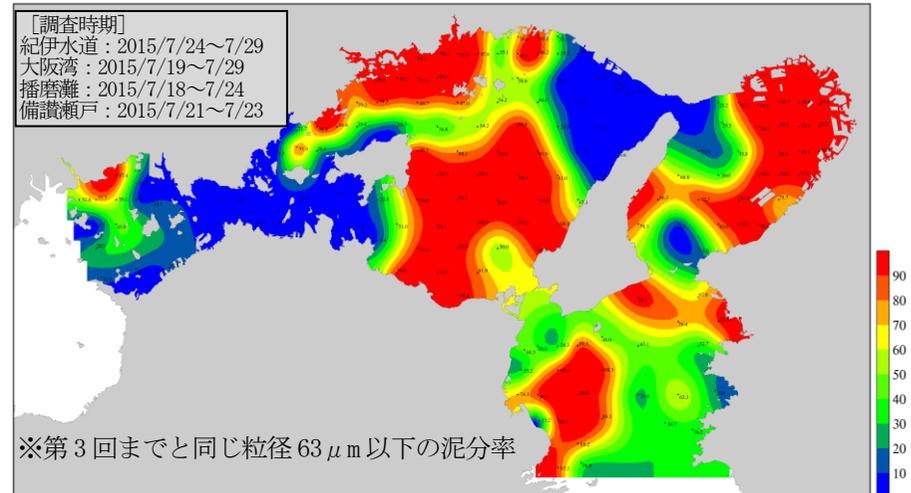
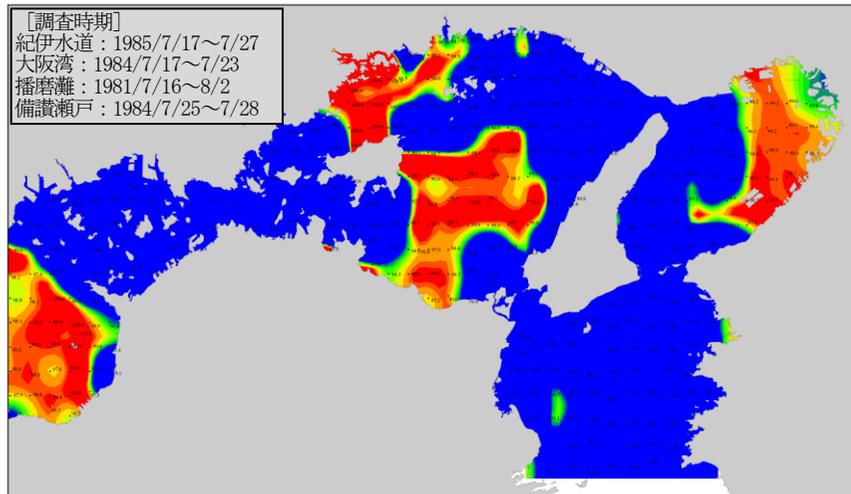


図 5-140(1) 泥分率(%)の水平分布の変化

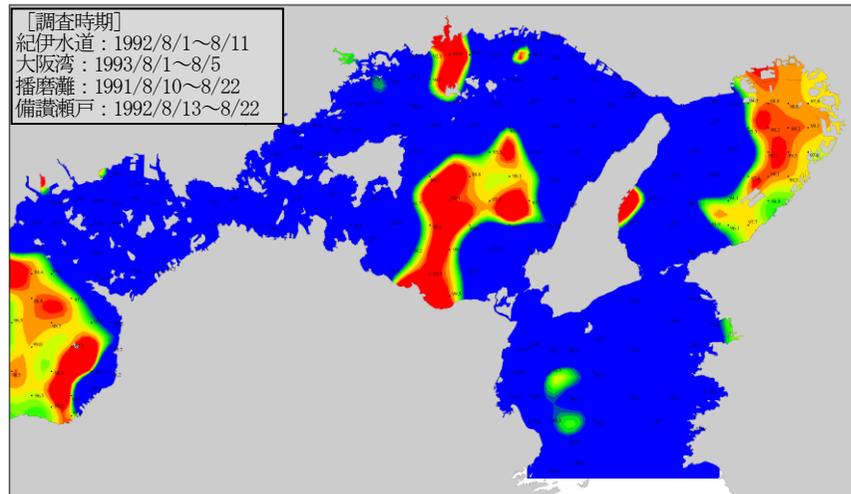
【第1回】

〔調査時期〕
 紀伊水道：1985/7/17～7/27
 大阪湾：1984/7/17～7/23
 播磨灘：1981/7/16～8/2
 備讃瀬戸：1984/7/25～7/28



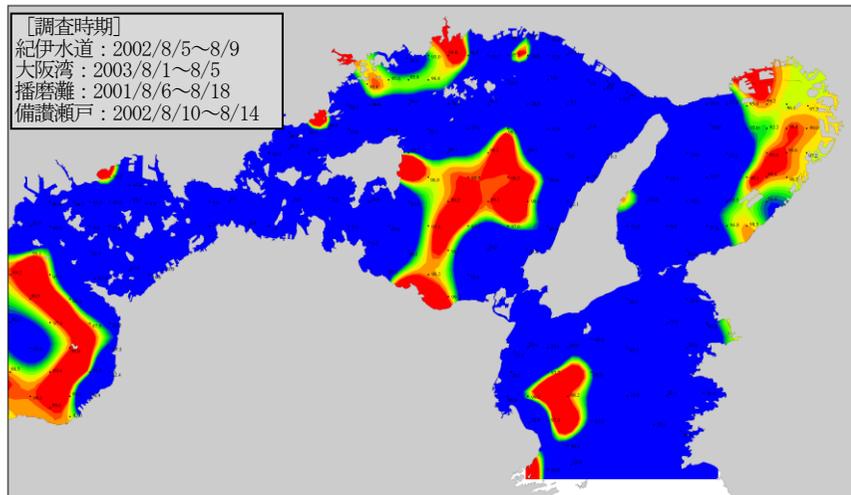
【第2回】

〔調査時期〕
 紀伊水道：1992/8/1～8/11
 大阪湾：1993/8/1～8/5
 播磨灘：1991/8/10～8/22
 備讃瀬戸：1992/8/13～8/22



【第3回】

〔調査時期〕
 紀伊水道：2002/8/5～8/9
 大阪湾：2003/8/1～8/5
 播磨灘：2001/8/6～8/18
 備讃瀬戸：2002/8/10～8/14



【第4回】

〔調査時期〕
 紀伊水道：2015/7/24～7/29
 大阪湾：2015/7/19～7/29
 播磨灘：2015/7/18～7/24
 備讃瀬戸：2015/7/21～7/23

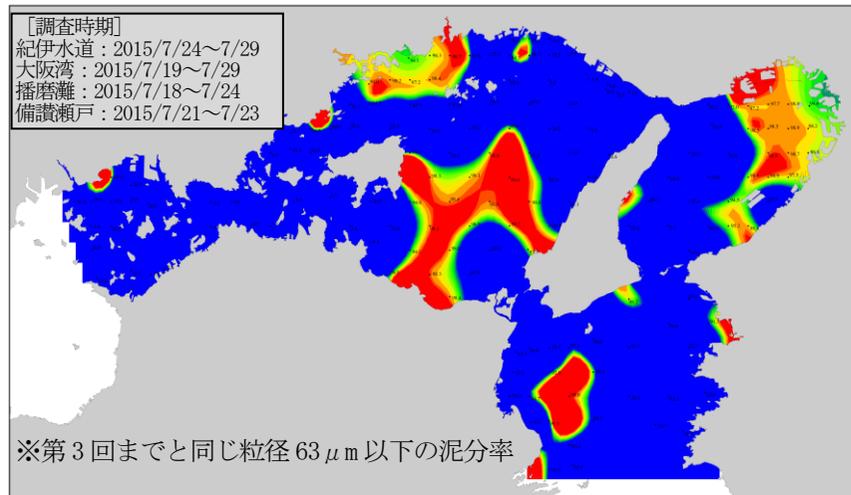
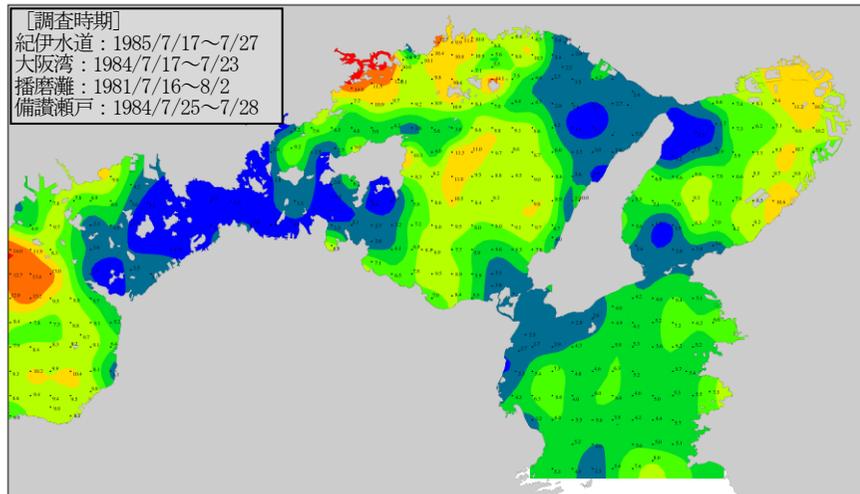
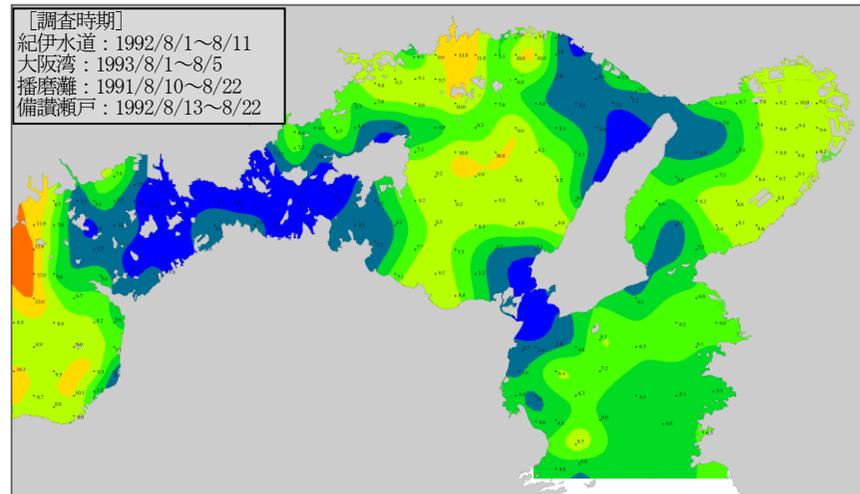


図 5-141 (2) 泥分率(%)の水平分布の変化(90%以上のみ細かく区分した場合)

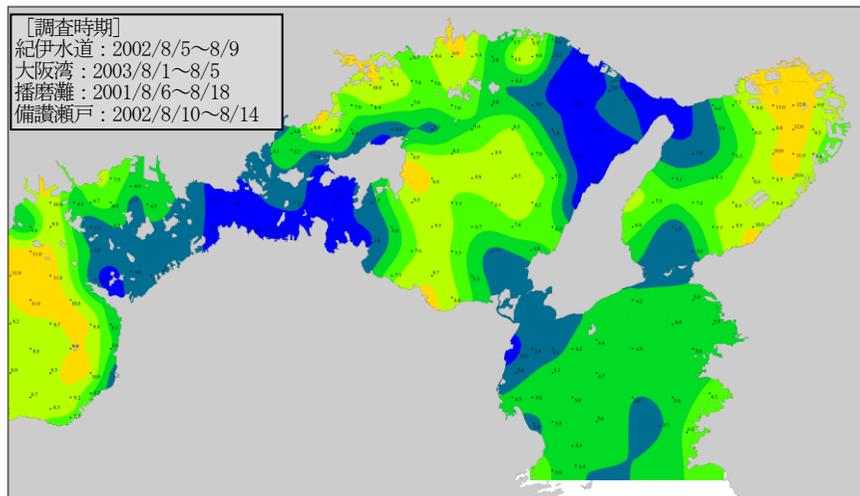
【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】

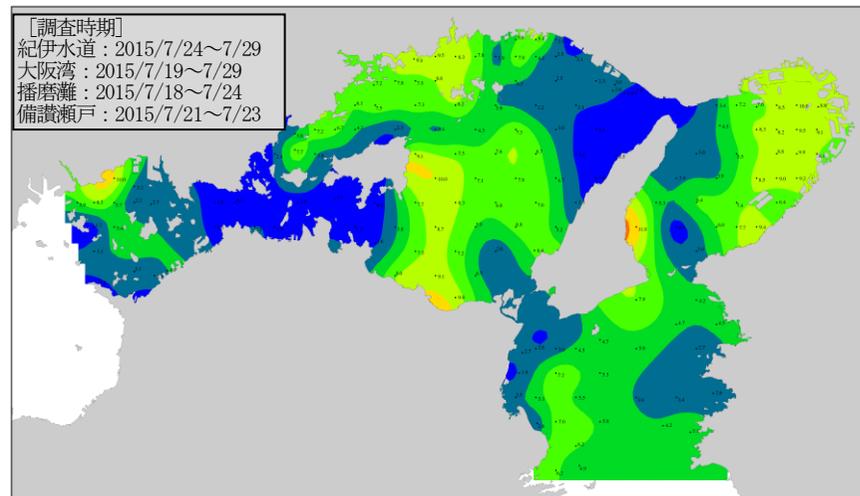
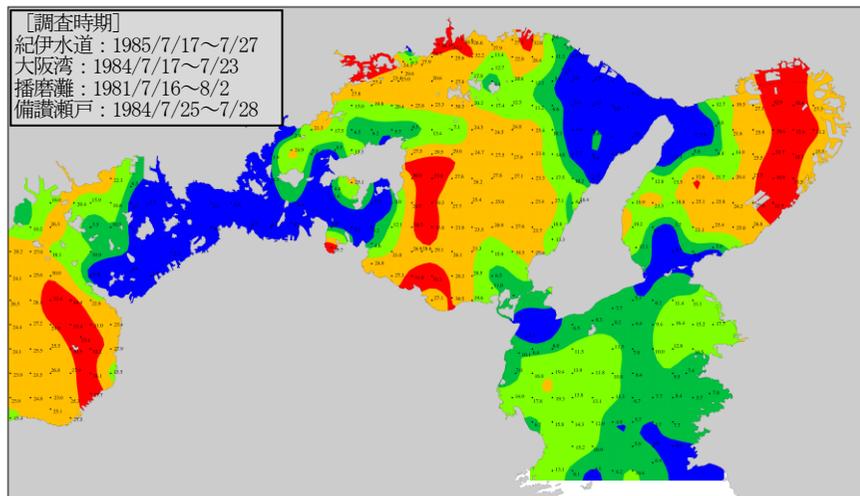


図 5-141(3) IL(mg/g)の水平分布の変化

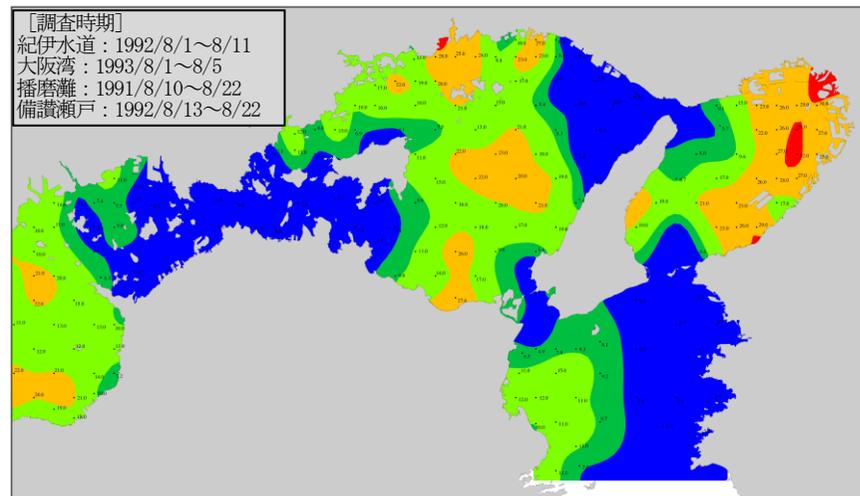
【第1回】

〔調査時期〕
紀伊水道：1985/7/17～7/27
大阪湾：1984/7/17～7/23
播磨灘：1981/7/16～8/2
備讃瀬戸：1984/7/25～7/28



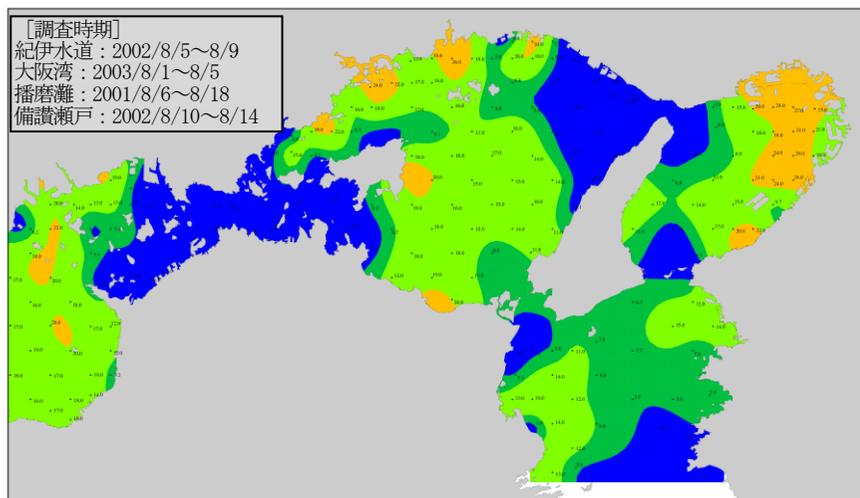
【第2回】

〔調査時期〕
紀伊水道：1992/8/1～8/11
大阪湾：1993/8/1～8/5
播磨灘：1991/8/10～8/22
備讃瀬戸：1992/8/13～8/22



【第3回】

〔調査時期〕
紀伊水道：2002/8/5～8/9
大阪湾：2003/8/1～8/5
播磨灘：2001/8/6～8/18
備讃瀬戸：2002/8/10～8/14



【第4回】

〔調査時期〕
紀伊水道：2015/7/24～7/29
大阪湾：2015/7/19～7/29
播磨灘：2015/7/18～7/24
備讃瀬戸：2015/7/21～7/23

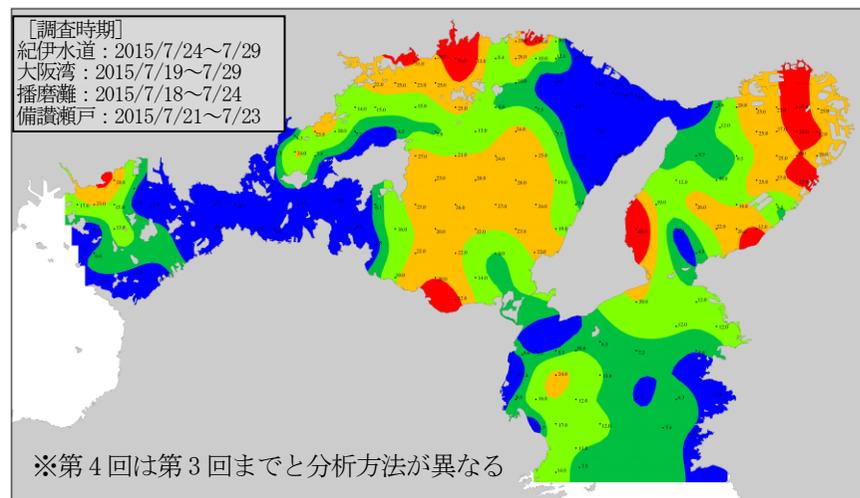
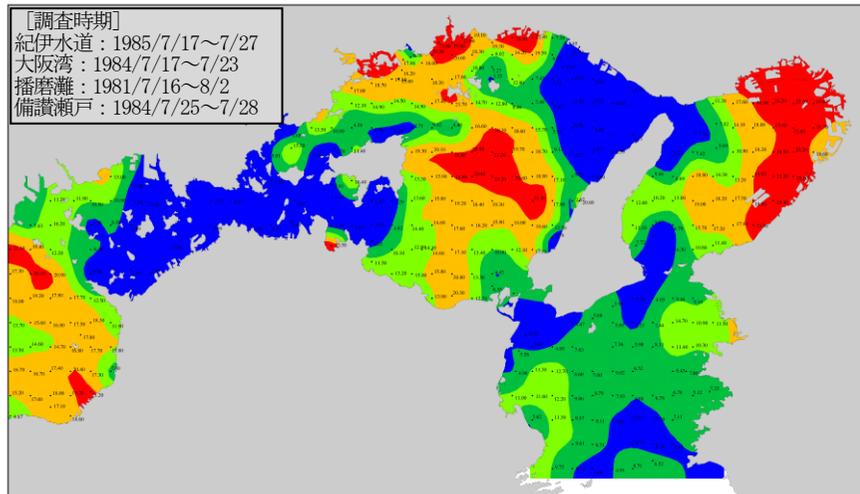
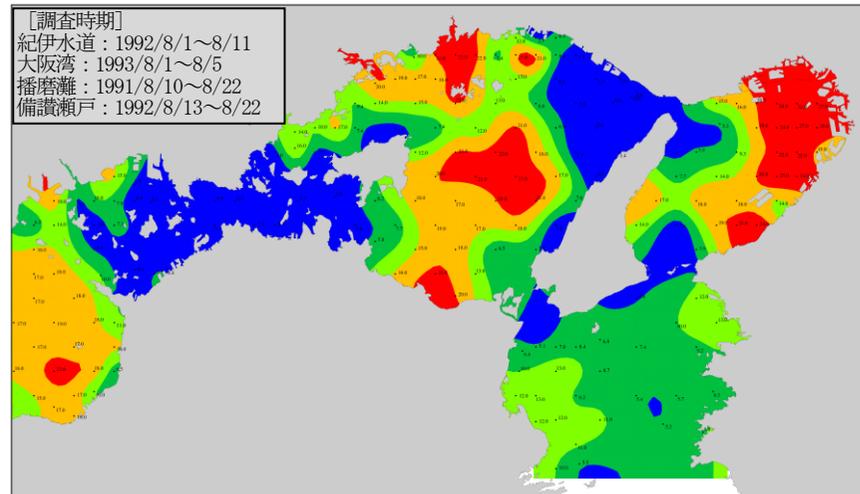


図 5-141(4) COD(mg/g)の水平分布の変化

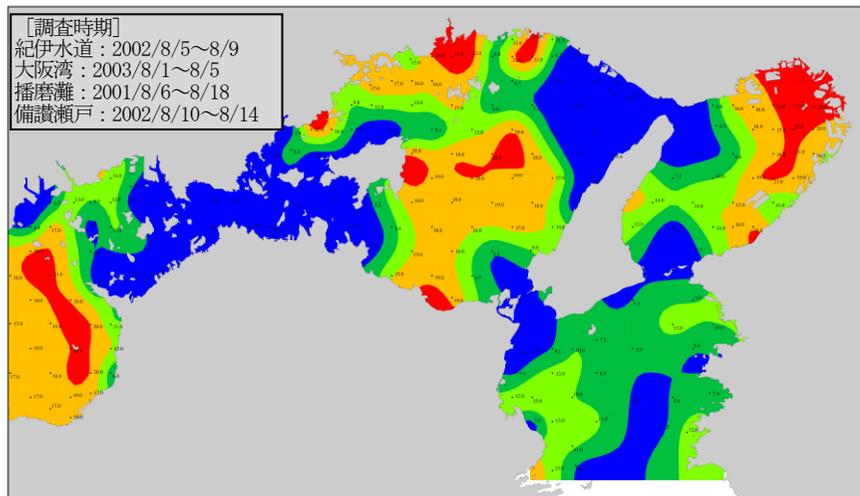
【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】

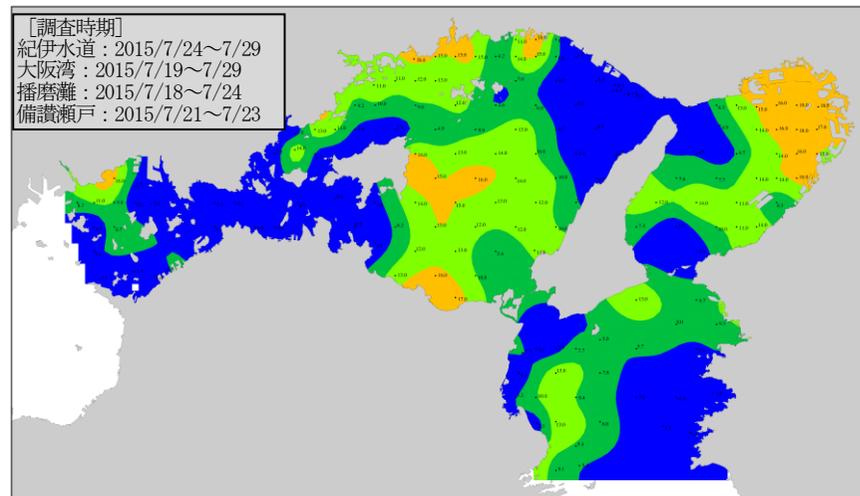
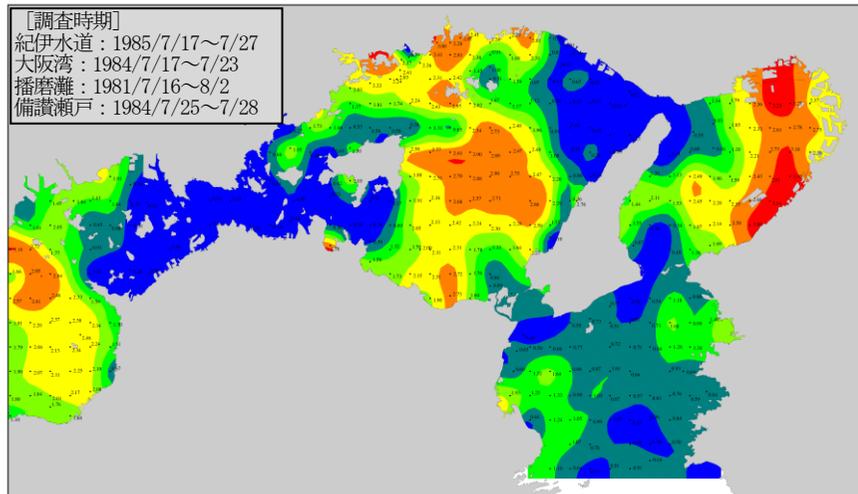


図 5-141 (5) TOC(mg/g)の水平分布の変化

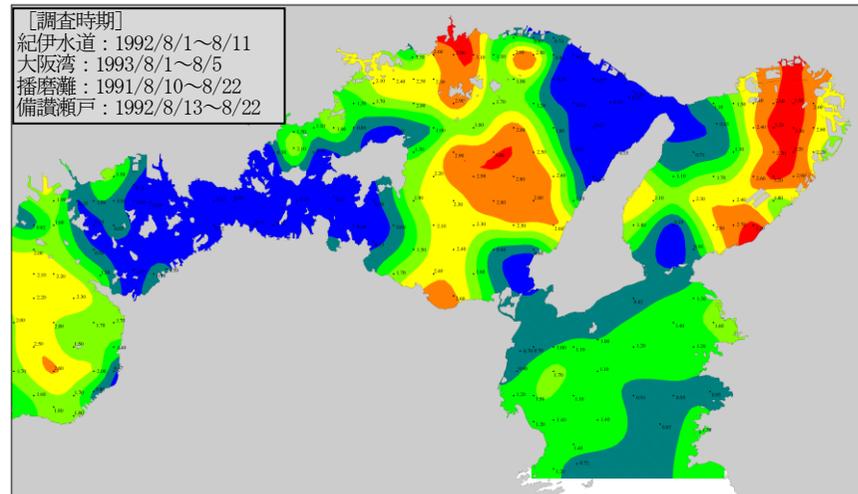
【第1回】

〔調査時期〕
紀伊水道：1985/7/17～7/27
大阪湾：1984/7/17～7/23
播磨灘：1981/7/16～8/2
備讃瀬戸：1984/7/25～7/28



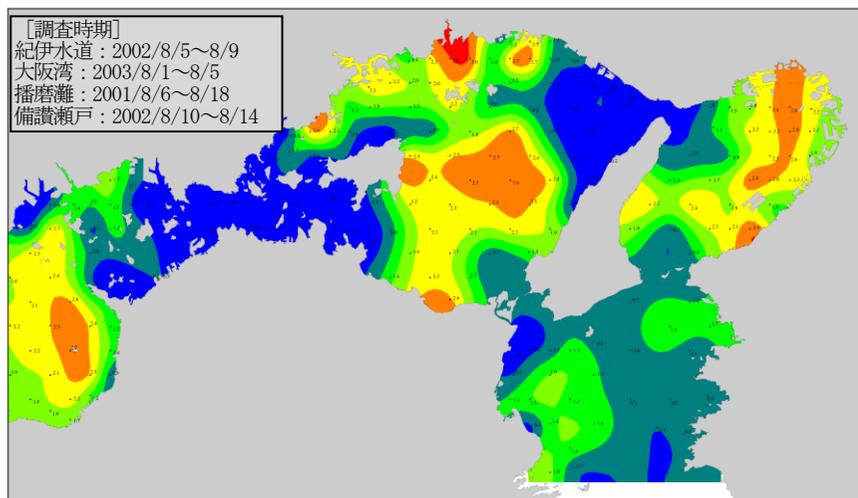
【第2回】

〔調査時期〕
紀伊水道：1992/8/1～8/11
大阪湾：1993/8/1～8/5
播磨灘：1991/8/10～8/22
備讃瀬戸：1992/8/13～8/22



【第3回】

〔調査時期〕
紀伊水道：2002/8/5～8/9
大阪湾：2003/8/1～8/5
播磨灘：2001/8/6～8/18
備讃瀬戸：2002/8/10～8/14



【第4回】

〔調査時期〕
紀伊水道：2015/7/24～7/29
大阪湾：2015/7/19～7/29
播磨灘：2015/7/18～7/24
備讃瀬戸：2015/7/21～7/23

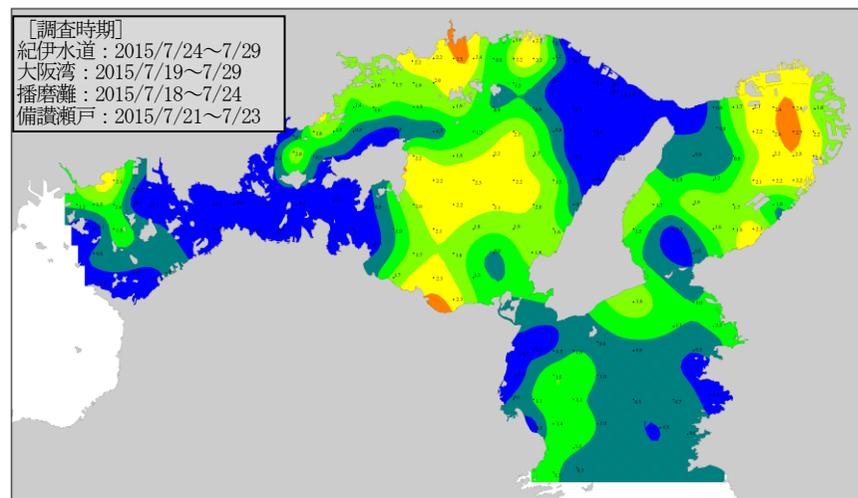
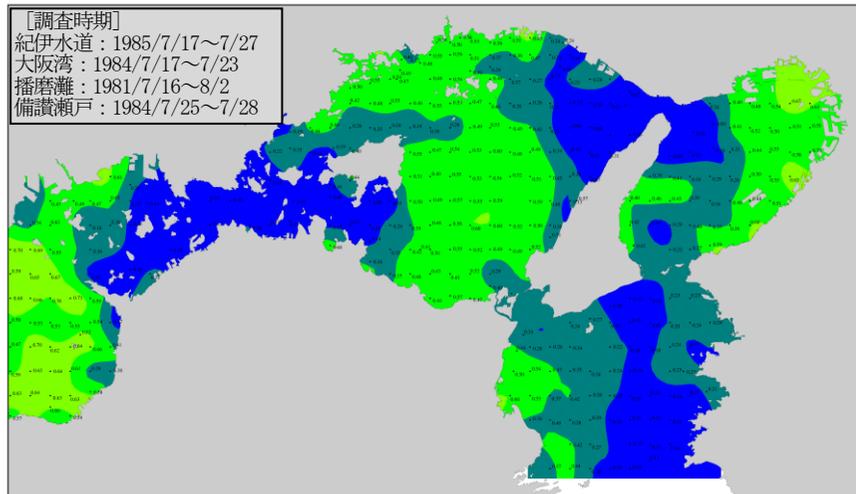
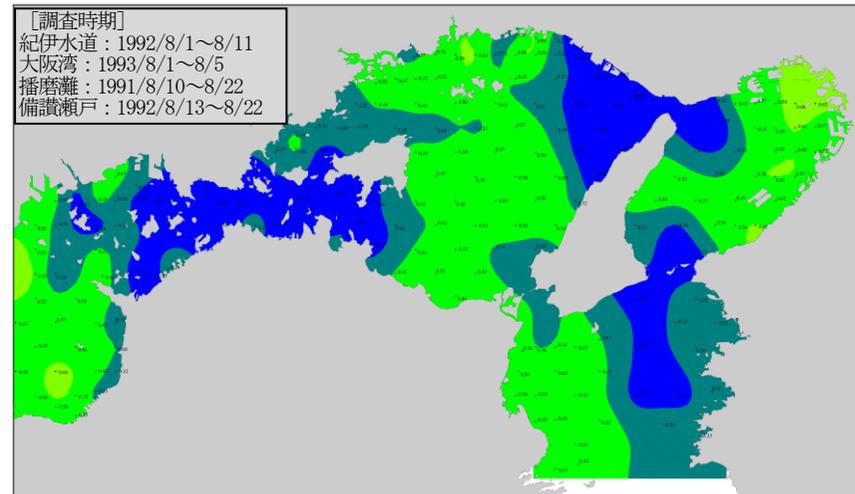


図 5-141(6) T-N(mg/g)の水平分布の変化

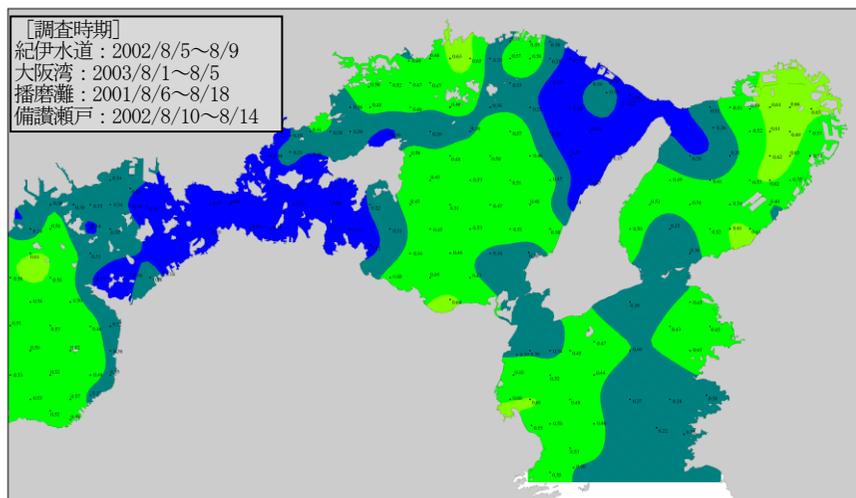
【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】

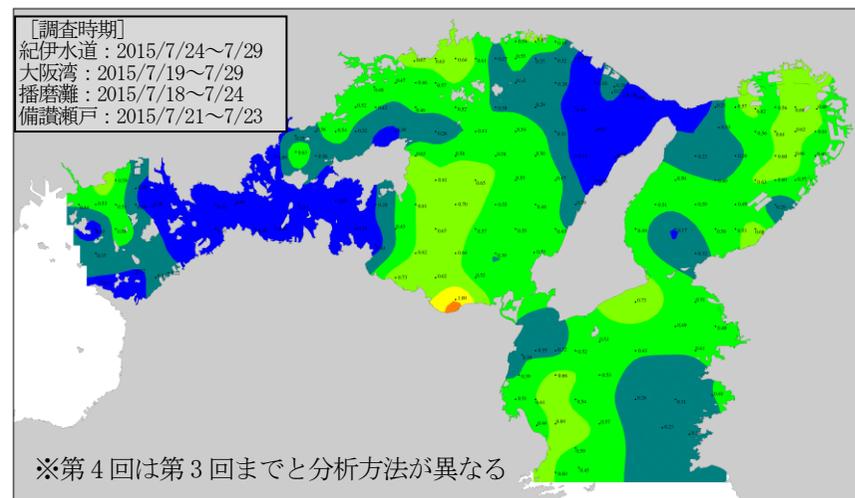
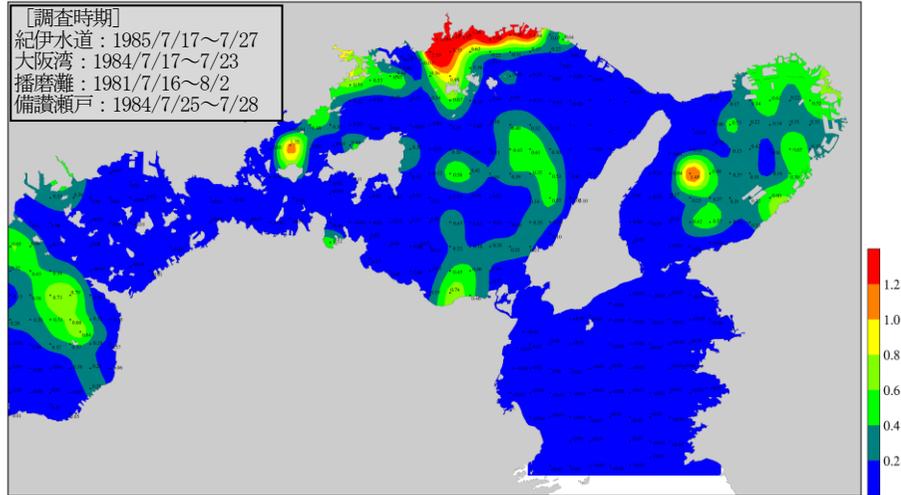


図 5-141 (7) T-P(mg/g)の水平分布の変化

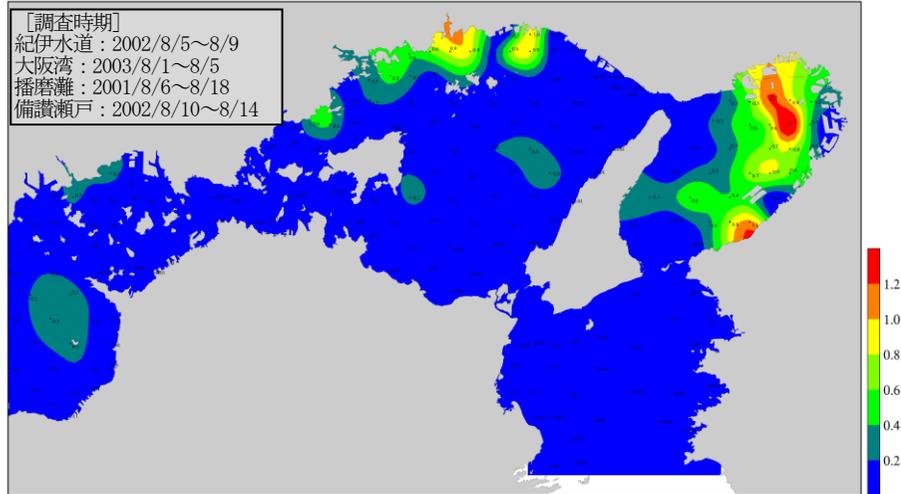
【第1回】



【第2回】

第2回は硫化物の測定無し

【第3回】



【第4回】

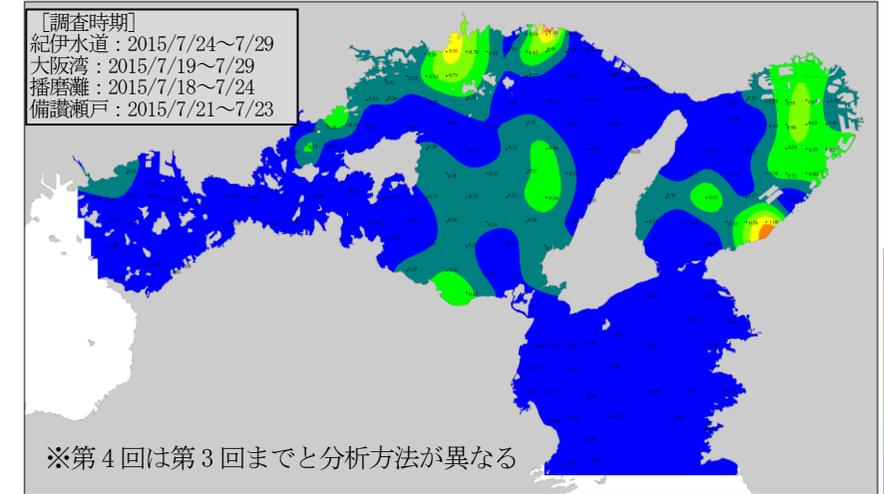


図 5-141(8) 硫化物(mg/g)の水平分布の変化